

日中活動支援について

1 基本方針

障害特性や希望に合わせたグループ活動を、入所者全員に実施し、この活動を通して生活の場と活動の場を区別し、毎日の生活リズムを整える。

- ① 障がい特性や希望、年齢に応じた個別プログラム
- ② 健康面の維持と増進のため、運動量の確保を目的とした散歩やP Tの助言に基づいた運動を行うプログラム
- ③ 意思決定支援に基づいたプログラム
- ④ インフォーマル資源を活用し、利用者個人と地域との結びつきが広がるよう検討

2 目標及び取組結果

- ・ グループ間での連携を強化し、支援の充実を図る。
- ・ よりよい支援を提供するため、利用者のグループ間移動、職員配置等を適宜検討
- ・ 利用者の高齢化等に伴い、利用者の状態に応じた活動、健康面の維持と増進に力を入れた活動を模索
- ・ 生活課と連携し利用者の意思決定支援に基づいた活動を提供
- ・ ニーズに応じた利用者一人ひとりのプログラムを用意

3 活動内容等

- ・ 活動室を中心にした活動（自主製品作成、ビーズ通し、ペグ挿し、プットイン、パズル、塗り絵、刺繍、機能維持運動、散歩、美化活動、園芸活動、創作活動、レクリエーション活動、ドライブ等）
- ・ 運動プログラム、余暇的プログラム（映画会、カラオケ、ドライブ、園外散歩、運動、飲食会、季節行事等）
- ・ 理学療法士の指導・助言に基づき、利用者の状況に合わせて柔軟に対応し、指導助言に基づいた活動を実施
- ・ レクリエーション活動（陶芸、フラダンス）

（旧芹が谷園舎について事業概要から一部抜粋）